

(仮称)石狩・八幡小学校設立準備委員会 第3回会議【質疑要旨】

・日時 平成29年11月28日(火) 18:30～19:57

・会場 八幡コミュニティセンター

・出席者

〔保護者〕

釣本 明雅 石狩小学校PTA会長
 熊倉 哲也 八幡小学校PTA会長
 鈴木諭美江 聚富小中学校PTA副会長
 富木 智之 石狩中学校PTA会長
 熊倉 可菜 くるみ保育園父母の会(今回から同会会長 上家雅仁氏から変更、委員を委嘱)
 工藤 隆司 聚富保育園 父母の会

〔学校関係者〕

真野 智美 石狩小学校教頭(同校の校長 原田伊織氏の代理出席)
 三島 哲 八幡小学校校長
 青山 司 聚富小中学校校長
 本田 明美 石狩中学校校長

〔学識経験者〕

戒屋 健一 学校支援地域本部事業・地域コーディネーター

〔学校支援推進員〕

中井 元 石狩小学校学校支援推進員
 菊地 功 八幡小学校学校支援推進員

〔町内会代表者〕

牧野 勉 むつみ町内会会長
 朝倉 勲 虹が原町内会会長

※以上 15 名出席

〔教育委員会事務局〕

佐々木生涯学習部長
 松井教育指導担当次長
 安崎総務企画課長
 佐々木学校教育課長
 照山指導担当参事
 工藤文化財課長
 清水市民図書館副館長
 松永総務企画課主幹
 古屋総務企画課主査
 加藤総務企画課施設担当主査
 石黒学校教育主事

〔保健福祉部〕

櫛引こども家庭課長
 佐藤こども家庭課主査

※傍聴者 5 名

【議事】

- ・委員長あいさつ（戒屋委員長）
- ・委員の変更の件（事務局より報告）

くるみ保育園父母の会代表として委員を委嘱していた同会会長の上家雅仁氏より、今後の会議の出席が困難である旨の報告を受け、前2回の会議に代理出席していた同会の熊倉可菜氏を、今回の会議から委員として委嘱することについて報告。
- ・新しい学校づくりの検討協議②
 - ・校舎の施設機能
 - ・スクールバスの運行
 - ・放課後児童の環境整備
- ・その他

【委員長あいさつ（戒屋委員長）】

先日11月24日の金曜日に、石狩中学校で「いじめ撲滅全校集会」が行われました。石狩小学校と八幡小学校、生振小学校から小学6年生が参加し、いじめを絶対に許さず、なくしていこうということを確認しました。20数名の6年生児童は、きちんと集会を進めていく中学生の立派な姿を緊張した表情で感心しながら見ていました。そして後半では、6年生が自分達のメッセージと一緒にボードに貼っていました。八幡小と生振小の子ども達は、帰りのバスの中でとても満足していた様子だったということを知り、統合後の子ども達の様子を見ることができたような一日でした。今日で3回目の会議になります。子ども達の喜びの顔を見るためにも、充実した話し合いを進めていきたいと思っております。

● 校舎の施設機能について

【市教委からの説明（要旨）】

（松永総務企画課主幹）

この度の統合によって、校舎として活用することになった現・八幡小学校の施設の現状について、市教委では資料に記載した項目について整備改修に向けた検討が必要な項目、課題として考えているところです。

校舎については、外壁の改修、廊下の照度改善（LED化）、各教室の床フローリングの改善、児童・職員トイレの改善（洋式便器の増設）、非常階段の塗装改善（錆び落とし、ペンキ塗装）、特別支援教室のシャワー設備改善、職員玄関のオートロック化が検討項目と考えています。

体育館については、外壁の改修、照明のLED化、床の改修（一部の剥がれ、ささくれ、隙間の修繕、研磨・ウレタン塗装、ライン引き直し）、放送設備の改善（スピーカー、アンプ等の更新を検討）、このほか学校から要望は受けていませんが、非常口のステップの修繕、屋根の改修（錆び落とし、トタン張替えの検討）が検討項目と考えています。

その他、児童玄関前の地面ブロック、階段ステップ（タイル）の改修、グラウンド整備（スポーツサンドの補充、雑草除去など）も検討項目であると考えています。

（安崎総務企画課長）

学校施設整備に係る国の補助金についてお話しをさせていただきます。

国（文部科学省）では、東日本大震災以降、学校施設については耐震化を優先的に進めてきましたが、ようやく耐震化が一段落し、老朽化対策に軸足を移すことになりました。しかしながら、

全国的に建築後 25 年以上を経過した建物が約 7 割を占めるという状況で、今後、老朽化対策に膨大な整備需要が見込まれています。国では概ね 5 年ごとに、どういった方針で補助金を交付するかを示しており、平成 28 年度からの 5 年間の基本方針では、特に安全面に支障がある老朽化が著しい施設の更新と、緊急性の高い事業から優先的に実施を図るとしています。例として、「建築後 45 年以上を経過した未改修の建物など緊急性の高い事業から順に長寿命化改修等を実施していくことについて検討されたい」といった表現がされております。特に昭和 40 年代後半から 50 年代の児童生徒が急増した時期に建てられた施設が優先されるという内容になっています。

石狩市内の学校で言えば、南線小学校の北校舎が築 42 年、花川小学校と浜益小学校の校舎が築 41 年、花川南中学校が築 40 年、築 40 年弱の建物として浜益中学校と石狩中学校などが該当します。

次に、国の予算の状況ですが、ここ数年、文部科学省は概算要求で約 2,000 億円を要求しております。この数字は市町村からの補助申請を積み上げた数字です。この予算がつけば、概ね全国の市町村が補助をいただいて事業が実施できるという状況ですが、ここ数年、当初予算は 700 億円程度しかついていない状況です。その他に補正予算が上積みされますが、平成 26 年、27 年の当初予算は 400 億。28 年はこの数年少ない予算が続いて、補助の採択が全国で半分程度しかできない状況があったので、1,400 億という予算が付きましたが、今年度以降は厳しい状況にあると、先週出席した研修会において文科省の担当職員から説明がありました。

市教委としては、統合を機に大規模改修事業を行って、国費を活用しながら整備したいという考えではあったのですが、ただ今申し上げた国の方針や予算の現状から、申請しても優先順位が非常に低くなるというのが実態で、採択されない可能性が非常に高い状況にあります。大規模改修の場合、億単位の費用となりますので、国の補助を当てにしないで行えるという財政状況にないことから、大規模改修で学校をリニューアルすることは非常に厳しい状況にあることをご理解いただきたいと思います。

情勢的に国の補助が見込めない状況であるとしたら、今後、これらの検討項目や今日いただいたご意見を踏まえ、必要な整備について財政課と協議しながら、現実的なラインで進めさせていただくことになろうかと考えているところです。

(清水市民図書館副館長)

続いて、私から図書館機能の充実に係る検討項目について説明いたします。

実施を検討している内容は、市民図書館と学校図書館のオンラインネットワーク化です。現在、市内では大・中規模の小学校のみで、市民図書館と学校図書館のオンラインネットワーク化を行い、読書支援、学習支援を行っています。八幡小学校と石狩小学校は小規模校なので、現在は行っていません。オンラインネットワーク化することにより、市民図書館の本(蔵書数 300,000 冊)を活用しやすくなります。学校に居ながら市民図書館の本を取り寄せ、貸し出し、返却ができるということは、児童の皆さんにとって多くの図書を利用しやすい環境になると期待しています。

【主な質問・意見】

(A 委員)

国の補助金ですが、防災設備と兼ねるといような補助申請のメニューはないのですか。

(安崎総務企画課長)

防災のメニューはありますが、メニューにあるものが八幡小の校舎に必要なかどうかを検討しなくてはなりません。

(A委員)

外壁は見た目の問題で、機能上問題がなければ急がなくてもいいのではないかと思います。優先順位はわかりませんが、トイレなどは以前から問題になっていることなので、市独自でもやるべきではないかと思います。

(安崎総務企画課長)

トイレの洋式化はこれまでも要望をいただいていることですので、統合までに解決したいと思います。低学年対象の1階については既に洋式化をしていますので、今後、2階と体育館の洋式化を、統合までに市独自の予算でもやりたいと考えています。

(戎屋委員長)

確認ですが、優先順位は別として、資料にある黒い■の項目は、統合の時点で整備されると考えていいのですか。

(安崎総務企画課長)

そのように言えればいいのですが、この項目をすべてやるとすると、国の補助金をもらわないとならないので、この中から優先順位をつけて絞り込まなくてはならないと考えています。

(B委員)

この項目の中から優先していかなくてはならないものを厳選していかなくてはならないということですね。私は危険を回避するための改修を優先すればよいと考えます。

(安崎総務企画課長)

その通りだと思います。例えば、八幡小の体育館の床は、竹馬などで傷んでいますので、ささくれによる怪我を防ぐように改修したいと思います。

(C委員)

開校までの間、何年にどの改修を行うという計画はあるのですか。

(安崎総務企画課長)

統合を機に改修したいという気持ちはあるのですが、市内には老朽化している学校が多くあるので、そうした学校との兼ね合いを見ながら、統合校にどれだけ費用を出していけるかということになります。

(C委員)

工事は休み中にやらなくてはならないと思うので、初年度はこれ、次年度はこれ、残りは、というような中長期的な計画はあるのですか。

(安崎総務企画課長)

まず今回示した検討項目を絞り込んでからになると思います。統合までに終わらせる部分と、開校後でもできるという部分を見きわめながら、予算を獲得していくことになるかと思っています。

(C委員)

優先順位によっては、統合してからやるというものもあるんですね。

(安崎総務企画課長)

統合で終わりではありませんので、施設の状況を見ながらやっていくことになります。

(戎屋委員長)

委員の皆さんから、これは優先してやってほしいというものはありますか。

(A委員)

防犯カメラはあるのですか。

(安崎総務企画課長)

市内に、防犯カメラを設置している学校はありますが、現在の八幡小校舎に必要なかどうかというのを考えると、他の整備に振り向けたほうが良いように思います。

(B委員)

セキュリティは入っているのですか。

(安崎総務企画課長)

機械警備は入っているのですが、オートロックにはなっていないので、来校者があつた際は職員が玄関に出向いて対応してもらっています。

(戎屋委員長)

石狩小学校の委員の方から、統合の際に整備してほしい要望はありますか。

(D委員)

何回も話題になっていますが、やはりトイレです。後は、LEDです。

(E委員)

耐震化について問題はないのでしょうか。津波などの対応はどうかのでしょうか。

(佐々木生涯学習部長)

耐震化はクリアしています。また、今年2月に北海道が、想定される最大規模の地震が起きた場合の日本海側の津波浸水区域予想図を公表しており、それによると八幡地区はほとんど浸水しないという内容でした。現時点では、津波の浸水で危ないという状態ではないと思います。

(戎屋委員長)

図書館機能の充実に係る検討項目に関わって、何か質問はありませんか。

(B委員)

オンライン化にはどのくらいの経費がかかるのですか。

(清水市民図書館副館長)

全体で120～130万円程度を想定しています。

(A委員)

オンライン化しても、八幡コミセンの図書室は残すのですか。

(佐々木生涯学習部長)

残します。オンライン化が統合の時期と一致するかどうかは、今後の財政課との協議によります。協議次第では、時期が後にずれ込むかもしれない状況ですが、機能充実の方針としてはそのように進めていきます。

● スクールバスの運行について

【市教委（松永総務企画課主幹）から資料に基づき説明】

【主な質問・意見】

(保護者代表：聚富保育園父母の会・工藤さん)

登校便は、石狩中横の車庫を出発して、道道を横町・新町方面に進み、折り返してからの戻りで児童を乗せるのですか。

(松永総務企画課主幹)

安全確保のために、可能な限り児童が国道や道道を横断しなくても乗車できる経路を前提に考えています。

(A委員)

乗車が長時間にならないように配慮をお願いします。

(松永総務企画課主幹)

安全運行と子ども達に過度の負担とならない乗車時間を考慮して、今後、乗車する子どもがはっきりした段階で、所要時間の精査をして最終的な運行経路を決定していきたいと考えています。

(B委員)

現在も1時間近くバスに乗っているという状況も聞きますが、校区が広く、家が点在していることもあって運行距離が長くなってしまっているのも、あまり乗車時間を制約すると送迎すること自体が難しくなると思います。

(戒屋委員長)

私は今日示された経路案は、子ども達の負担はあまりないのではないかと考えています。統合時のデータを推計した上での現時点での案ということなので、統合する前の年に再度、経路案を示してもらって、保護者の了解をいただけるような機会を設けられれば良いと考えますが、いただいたご意見も貴重な意見であったと思いますので、活かしていけるようなものになるよう今後も詰めていってほしいと思います。

(C委員)

下校便はどうなるのでしょうか。

(安崎総務企画課長)

基本的には、統合小学校から出発する下校便のバスに石狩中の生徒が便乗することはないと考えています。可能性としてあるのは、後ほど説明することになっている石狩小学校区の放課後児童クラブ「つくしクラブ」が、現・石狩中の校長・教頭住宅に移転する場合において、クラブの通所児童が下車する時間と、中学生の下校時間が合った場合ぐらいではないかと想定しています。

● 放課後児童の環境整備について

【保健福祉部こども家庭課から説明】

(櫛引こども家庭課長)

保健福祉部では、現在の「つくしクラブ」の移転先として、「石狩小学校の校舎内」と「現在の石狩中学校の校長・教頭住宅」の2つに絞り込んで検討しています。このクラブには、現在9名8世帯の利用があり、先日、次の情報をお伝え、意見の聴き取りをしました。

お伝えした概要としまして、まず「石狩小学校の校舎内」の場合は、①グラウンドが使用できること。②体育館は使用できないこと。③クラブとして使用できる教室は、アンケート調査の時点では、普通教室1室、約60㎡であること。④現在のつくしクラブから場所が近いため、一人帰りやお迎えへの影響が少ないこと。⑤建築年は昭和49年であること。という5つの情報をお伝えしました。

一方の「石狩中学校の校長・教頭住宅」については、①中学生が使用していないときにグラウンドが使用可能であること。②中学生が使用していないときに体育館が使用可能であること。③住宅を改装してクラブにするため、部屋は3室ありますが、狭小約41㎡であること。④現在のクラブから場所が遠いため、一人帰りやお迎えに影響が出る恐れがあること。⑤建築年は昭和55年であること。という5つの情報をお伝えし、アンケートを行いました。

結果概要としましては、保護者の方8世帯の内、4世帯から回答をいただいたところ、「何を重視されているのか」については、「自宅との距離」をあげられる方が一番で、次にクラブ室の広さ、体育館使用の可否、といった点について優先度が高く、送迎や一人帰りのしやすさ、子ども達が体を動かして発散できることが重要視されていることが伺えました。

そして、「石狩小学校の校舎内」と「石狩中学校の校長・教頭住宅」のどちらを移転先として希望するかについては、4件のご回答のうち、ちょうど2件ずつという回答結果でした。また、自由記述欄を設けたところ、お一人の方から記載があり、「石狩小学校の体育館が使用できないと記載されているが、できれば週2回程度使用できればいいと思う」という記載がありました。

こうしたところから早急に判断はしかねるのですが、学校の統合が数年先ということで、今通っていただいている児童は退所されているのではないかというふうに考え、現在幼稚園や保育園に通っているお子さんの保護者や地域の方々の意見を聞いていく必要があると考えています。その手法として、例えば親船会館などの会場で地域懇談会を行って、ご意見を広くお聞きして、最終的に市で判断していきたいと考えています。また先ほど、石狩小学校の校舎内1室のみしか使えないということでアンケートをさせていただいたのですが、先日教育委員会と協議した結果、2教室を使わせていただくことができるかもしれないというお話をいただいているので、今後そういった情報は地域の方にお伝えしながら最終的に判断していきたいと考えています。宜しくお願ひします。

【主な質問・意見（要旨）】

(戎屋委員長)

今の説明にありましたように、アンケートをとった世帯の子ども達が、統合になる頃にはつくしクラブを利用しているかどうかわからないことから、保育園や幼稚園の子ども達の保護者の声も拾う必要があるという説明でしたが、その点についていかがでしょうか。

(B委員)

くるみ保育園の父母の会からは、つくしクラブの状況として「狭い」「古い」という意見があると、以前伝えさせていただいたところです。どちらかに移転した場合も、今の使用状況とあまり変わらないなら、せつかく移転してもあまり意味がないのではないかと思います。もし、中学校の校長・教頭住宅に移転した場合は、中学生が使っていない場合は体育館OK、グラウンドOKということでしたが、学校が使わない時というのはほとんどないのではないのでしょうか。放課後は部活動でグラウンドや体育館を使うので、基本的には使えないと想定したほうが正しいかと思っています。

(戎屋委員長)

要望としては、狭いということ解消することと、屋外での活動を多少確保してほしいということですね。

(B委員)

ある程度確保してあげたほうがいいということです。例えば、宿題が終わった後、のびのびと遊んだり交流できたりするスペースがきちんとあったほうがいいというイメージです。札幌市内の児童会館はある程度広めで、体を動かすことができるスペースがあったようです。広さの度合いがどれくらいなのかは私のほうで想像できないのですが、できれば広々と使えたほうが望ましいと思います。

(松永総務企画課主幹)

私から石狩中学校の校長・教頭住宅に開設した場合についてお話します。その場合、中学校の体育館が使えるかどうかということですが、先日石狩中学校の加藤教頭に現状をお聞きしたところ、週1～2日程度、平日の午後で体育館での授業を行わない日があるとのことでしたが、どうしても学校側では、クラブに通う子ども達の出入りや、冬季間は早めに暖房を入れることなどの施設管理の面で配慮が必要となる点が多く、どうぞ使ってくださいとはなかなかいかない面があるということでした。

(戎屋委員長)

中学校の校舎やグラウンドを借りるということは、中学生の学習活動との兼ね合いによる課題があるということですね。

(B委員)

石狩小学校の校舎内の場合は、それを2部屋（2教室）使えるということですね。そうであれば、ある程度理想的だと思います。一部屋は学習の場として使って、もう一部屋は体を動かすことに使えるといいと思います。

(安崎総務企画課長)

一方の石狩中の校長・教頭住宅で体を動かすことは難しいです。

(戎屋委員長)

石狩中の校長・教頭住宅を使う場合、室内を改修する予定はあるのですか。

(安崎総務企画課長)

保健福祉部で改修を行うこととなります。その場合、三角屋根の一軒家の一階となるので、室内をフラットにしたり、トイレを設置したりすることになると思います。

(櫛引こども家庭課長)

クラブの面積について補足説明させていただきます。現在、花川南小学校と花川小学校の敷地内にある元の校長・教頭住宅を改修して、今年4月から定員20名で使わせていただいています。面積が45㎡で、国の基準では一人当たりの面積が1.65㎡です。

石狩中学校の校長・教頭住宅は41㎡で、定員20名とすると、ちょうどぎりぎりの規模となります。

一方の石狩小学校の校舎内とすると、一教室は60㎡で約30人は入れます。それが2教室となると、一教室は椅子やテーブルのある部屋として、家庭学習をしたり遊びをしたり、放課後を過ごす常設の場とし、もう一教室は多少体を動かすことができる場とすることができます。

一方の石狩中学校の校長・教頭住宅は、面積が少々狭いのですが、学校で5～6時間目を毎日体育などで使うわけではないということなので、体育館を使用できる可能性はあるのかなと考えており、今後の話し合いによるのかなと思います。

いずれにしても、現在のつくしクラブは、元々、定員数十人規模の認可保育園でしたので、かなり広い面積になっています。約280㎡の広さで、通常のクラブの5～6倍ありますので、比較すると少々狭いというイメージは否めないのですが、通常の国の基準から申しますと、十分に面積は足りているということになると思います。

(A委員)

なぜ、石狩小学校の体育館が使えないのですか。

(安崎総務企画課長)

石狩小学校の体育館は、市の文化財関係の保管場所と考えています。

(A委員)

空き教室などで保管することはできないのですか。

(安崎総務企画課長)

空き教室も含め、校舎のほとんどを使うことを想定しています。実際に保存する文化財が相当量あるということで、一部を放課後児童クラブのスペースに充てられないかということで、2教室分であれば可能ということで文化財担当から言われています。

(A委員)

市内で他に保管する場所はないのですか。今はどこに置いているのですか。

(佐々木生涯学習部長)

現在は市内に分散して保管しています。今回、石狩小学校を石狩の歴史を伝える施設にするにあたって、展示機能と保管機能の両方を兼ね備えるものにしようと考えています。

(A委員)

すると石狩小はそのような文化財を展示する場所になるのですか。

(佐々木生涯学習部長)

そのような方向性を持って、新年度に校舎の利活用方法の検討をする予定です。

(A委員)

耐震などに問題はないのですか。

(佐々木生涯学習部長)

耐震は補強しなくてもOKです。

(A委員)

津波の心配はないのでしょうか。

(佐々木生涯学習部長)

道のシミュレーションによると、砂山を越えないという報告になっています。

(B委員)

仮に石狩小学校校舎内に移転した場合、つくしクラブに在籍する子ども達を看る先生以外にどんな人がいるのですか。展示物を管理する人や、展示を観る一般の人の出入りはどうなるのですか。

(佐々木生涯学習部長)

その辺はまだ決まっていますが、文化財を展示するとすれば、施設を管理する人を置かなければならないと思います。

(B委員)

セキュリティや子どもの放課後活動の安全面で考えると、石狩中学校の校長・教頭住宅の方が、不特定多数との関わりが少ないのかなという気がします。

一方の石狩小学校の校舎内につくしクラブを置いた場合、冬場の暖房の面で廊下などが寒いのではないのでしょうか。教室二つだけしか暖房を使えない状況であれば、トイレに行くのも極寒という状況になるのではないかと気になります。

(安崎総務企画課長)

石狩小学校の校舎自体は、教室には暖房が入りますが、廊下は極寒まではともかく、やはり寒いと思います。基本的には古い学校で、片側廊下で外になるので、両側教室で中廊下というつくりの学校に比べて寒いです。

(戎屋委員長)

石狩小学校閉校後の校舎の後利用については、平成30年から検討を始めることになっていますので、どのような活用になるかということも関わってきますね。多くの方が来て見学していくような施設になるのであれば、石狩中の校長・教頭住宅を利用したほうが良いという考えにもなりますね。今日はそのような意見が出たということで、よろしいでしょうか。

(安崎総務企画課長)

はい。今後は所管の保健福祉部の方で、今後、地域の意見をどのように聴き取って最終的に決めていくかということになります。

(戎屋委員長)

わかりました。保健福祉部で、更に保護者や地域の方々の声を拾って、ただ今の意見等もお汲みいただいて、検討を更に進めていただきたいと思います。

【質疑終了】

(戎屋委員長)

ご意見、ご質問等をいただきありがとうございました。

最後に、次回の会議の日程については、来年2月6日の火曜日、18時30分より開催したいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

これをもちまして、第3回会議を終了します。ありがとうございました。

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成30年 2月 2日

(仮称) 石狩・八幡小学校設立準備委員会

委員長 戎屋 健一